

J R 東海労働組合関西地「申」第 29 号
2021年3月2日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「J R 新大阪駅沿線の地下掘削工事」に関する申し入れ

昨秋から、J R 新大阪駅の引上げ線近くの博多方山側（大阪市西宮原 2 丁目 2）にある民間有料駐車場と、J R 新大阪駅の山側・東口出口付近（大阪市東淀川区西淡路 1 丁目 3）にある「コロナホテル」西側の会社敷地内において地下の掘削工事が開始されている。

工事現場には「地質調査」を知らせる看板があり、単なる地面の改修工事ではないことは明らかである。

以前、会社は、鳥飼車両所基地内にあるわずかな茨木市域の土地を強引に掘削し、井戸掘削工事を行なった。摂津市との公害防止環境保全協定を踏みにじり、沿線住民に不安を与え、訴訟にまで及んだことは記憶に新しい。

報道によれば、先行開業の東京～名古屋間のリニア建設工事も、静岡県内でストップしていると聞いている。該当する多くの行政（県・市・町）にも、計画性のある真摯な説明を行っていないとも聞く。

仮に、今回の工事がリニア建設の為の地質調査で有れば、直ちに中止すべきであることを先に述べておく。以下、申し入れをするので、早急に団体交渉を開催すること。

記

1. J R 新大阪駅の引上げ線近くの博多方山側にある民間有料駐車場と、J R 新大阪駅の東京方山側にある会社敷地内における掘削作業は、会社が進めている工事であるのか明らかにすること。
2. この工事の目的を明らかにすること。
3. 新大阪駅地区でも、鳥飼車両所基地内と同等の井戸掘削を実施するのか明らかにすること。
4. この工事期間を明らかにすること。
5. この工事は、「2037年に東京～新大阪間のリニア全線の開通」との関連があるのか明らかにすること。

以上